

# 履歴および業績一覧

内野 明 専修大学商学部教授

履歴部分は、略歴、兼任講師歴、学会活動、社会的活動の順に表記してあります。

業績は、著書(共同執筆、一部執筆を含む)、論文、学会発表(海外の発表で Proceedings に収録のものは除く)、翻訳その他の順です。

略歴、兼任講師歴以外はすべて最近のものから順に記載してあります。

2022. 4. 1 現在

## [略 歴]

1955(昭和 30)年 2 月生まれ

1973(昭和 48)年 浅野高校卒業

1979(昭和 54)年 横浜国立大学経営学部管理科学科卒業

1981(昭和 56)年 横浜国立大学大学院経営学研究科修了

1981(昭和 56)年 横浜商科大学助手

1986(昭和 61)年 横浜商科大学専任講師

1989(平成元年)年 横浜商科大学助教授

1990(平成 2)年 専修大学商学部助教授

1995(平成 7)年 専修大学商学部教授、現在に至る

1999(平成 11)年 9 月より 1 年間、ウスター工科大学客員研究員(WPI: Worcester Polytechnic Institute、米国マサチューセッツ州)

2009(平成 21)年 9 月より 2013 年(平成 25 年) 8 月末まで専修大学商学部長、専修大学理事、専修大学評議委員

## [兼任講師歴]

1988(昭和 63)年 4 月～1990(平成 2)年 3 月 明治学院大学経済学部 情報処理演習 担当

1989(平成元年)年 9 月～1990(平成 2)年 8 月 日本大学経済学部 コンピュータ論 担当

1994(平成 6)年 4 月～1999(平成 11)年 3 月 駿河台大学経済学部

会計情報システム(平成 6 年度)、プログラミング論 I 担当

1995(平成 7)年 4 月～1999(平成 11)年 3 月 中央大学商学部 情報処理演習 I・II 担当

2002(平成 14)年 4 月～2004(平成 16)年 3 月 愛知淑徳大学コミュニケーション学部

システムデザイン II 担当(集中講義)

2002(平成 14)年 4 月～2009(平成 21)年 8 月 学習院大学経済学部 情報処理 1・2、

初等情報処理 1・2 担当

## [学会活動]

2022年6月25日・26日 日本情報経営学会第83回全国大会実行委員長  
2021年4月～ 経営関連学会協議会最高顧問  
2018年4月～ 日本情報経営学会A I人工物の監理研究部会幹事  
2013年6月～ 日本経営数学会事務局長  
2020年4月～2021年3月 日本情報経営学会副会長  
2019年6月～2021年3月 経営関連学会協議会理事長  
2015年6月～2021年5月 日本経営数学会常任理事  
2016年4月～2020年3月 日本情報経営学会常任理事・関東支部長  
2018年4月～2019年6月 経営関連学会協議会副理事長  
2012年4月～2016年3月 日本情報経営学会理事  
2010年4月～2016年3月 JSD会長（SD学会日本支部長）  
2014年2月 “The first Asia-Pacific System Dynamics Conference of the System Dynamics Society, Tokyo, Japan, February 22-24, 2014”, Organizing Chair  
2011年6月～2013年5月 日本経営数学会幹事  
2007年6月～2011年5月 日本経営数学会常任理事  
2007年4月～2009年3月 経営情報学会 情報システム発展史特設研究部会 幹事  
2006年4月～2008年3月 経営情報学会理事 研究担当  
2005年5月～2007年6月 日本経営数学会幹事  
2004年4月～2006年3月 経営情報学会 ユビキタス社会の潮流研究部 幹事  
2001年6月～2005年5月 日本経営数学会常任理事  
1999年6月～2001年5月 日本経営数学会幹事  
1998年4月～2001年3月 経営情報学会 e-Business 研究部会 幹事  
1997年6月～1999年6月 日本経営数学会常任理事  
1996年4月～1998年3月 経営情報学会ビジネス&ソーシャルチェンジ研究部会幹事  
1994年4月～1996年3月 経営情報学会 SMC研究部会 幹事  
1992年4月～1993年3月 経営情報学会 幹事 組織委員長  
1990年4月～1994年3月 経営情報学会 情報創造研究部会 主査  
1990年1月～1992年3月 経営情報学会 研究運営部会 副幹事長

## [社会的活動]

2002年2月～2003年3月 中小企業診断士のあり方に関する研究会委員、(社)中小企業診断協会  
1993年4月～1999年3月 情報・事務管理部門専門委員、(財)中央職業能力開発協会  
1993年4月～1995年3月 オフィスにおけるOA機器のパーソナル化等動向調査委員会 委員長、(社)日本事務機械工業会

## [業 績]

(著書：共著・一部執筆を含む)

- 2018年 メコン地域におけるビジネス教育(編著者、第1章、第3章執筆) 白桃書房  
2010年 明日のIT経営のための情報システム発展史(全4巻、経営情報学会情報システム発展史特設研究部会編、第3巻流通業編他、編集、執筆)、専修大学出版局  
2010年 ビジネスインテリジェンスを育む教育(著者代表、第1章、第8章執筆)、白桃書房  
1999年 ビジネスチェンジー情報技術が変える仕事・組織・人(共編著者、第2章 電子コミュニケーションはビジネスをどう変えるか、他執筆)、同文館  
1997年 経営システムのモデリング学習(第12章 経営戦略)、牧野書店  
1997年 経営管理支援型情報システム(第6章 コクヨ)、日科技連出版社  
1996年 ロジスティクス型情報システム(第6章 サンリット産業)、日科技連出版社  
1994年 システムダイナミクス入門(第2章 モデリングの方法)、日科技連出版社  
1993年 コンピュータ情報処理論 改訂版(第6章 プログラミング言語)、白桃書房  
1989年 戦略的情報システム(第4章 情報ネットワーク化戦略)、日科技連出版社  
1987年 情報技術知識の要点(第6章 データベース)、評言社  
1986年 例解構造化COBOL(共著者、第4・6・補章)、実教出版  
1980年 情報処理技術者ハンドブック(基礎編 第2章 ソフトウェア、応用編 第1章 チェックシステムと設計一般)、国土地理協会

(論 文)

- 2020年 "Where is System Dynamics situated within Soft/hard systems and the soft/hard approach?", The 3rd Asia-Pacific System Dynamics Conference in Brisbane, Australia. [<https://apsdc.business.uq.edu.au/conference-proceedings/Akira%20Uchino%20Proceedings.pdf>]  
2012年 "Accounting Dynamics - Rethinking about Theoretical Framework (共著、町田欣弥)", The 30rd International Conference of the System Dynamics Society, Web Proceeding 収録、System Dynamics Society.  
2011年 「次世代システム」を考える、『次世代システムを考える』、経営情報学会 次世代システム研究部会, pp. 1-12.  
2009年 「事例研究: 業界VAN・プラネット」、専修ビジネス・レビュー、Vol. 4, No. 1, pp. 59-80, 専修大学商学研究所。  
2009年 「シミュレーション分析結果とデータの公開に関する研究—倉庫内作業の効率化シミュレーションを利用して(共著、岩尾詠一郎、小島崇弘)」、情報科学研究所所報、No. 70。  
2007年 「経営情報システムに関する主導概念のオーバービュー」、専修ビジネス・レビュー、Vol. 2, No. 1, pp. 49-65, 専修大学商学研究所。  
2007年 「ユビキタス社会の潮流は新たな時代を担うのか—Web2.0との乖離」、『ユビキタス社会の潮流』、pp. 1-11, 経営情報学会ユビキタス社会の潮流研究部会。

2005年 “Some contribution toward Spatial Urban Dynamics: From Relative Attractiveness point of view (共著、田中伸英、降籬徹馬、高橋 裕)”、The 23rd International Conference of the System Dynamics Society, Proceeding CD-ROM 収録、System Dynamics Society.

2005年 「アカウントティング・ダイナミクス再考、(共著、小島崇弘)」、商学論纂、中央大学商学研究会、Vol. 46, No. 5, pp. 1-25.

2004年 “Fundamental Analysis of the Attractiveness of a Shopping Street (共著、田中伸英・降籬徹馬)”、The 22nd International Conference of the System Dynamics Society, Proceeding CD-ROM 収録、System Dynamics Society.

2004年 「階層的目的地選択と小売集積：シミュレーション、(共著、降籬徹馬、田中伸英)」、日本経営数学会誌、Vol. 26, No. 1, pp. 17-34.

2004年 「われわれはどこにいるのかーポスト情報社会に向けた時代区分の認識」、『デジタルソサイアティとポスト情報化社会』、経営情報学会デジタルソサイアティとポスト情報化社会研究部会、pp. 1-7.

2003年 「小売施設と人口分布の相互作用を考慮した小売集積シミュレーション」、(共著、降籬徹馬、高橋 裕、田中伸英)、日本経営数学会誌、Vol. 25, No. 2, pp. 151-163.

2003年 「21世紀日本の人口モデルにむけた基礎的考察」、商学研究年報、No. 28, pp. 55-71.

2001年 「SD教育の現状ー米国の事例を中心に」、日本経営数学会誌、Vol. 23, No. 1, pp. 26-35.

2000年 “Theoretical Analysis and Simulation of Stability during Non-equilibrium Stage in Physical Distribution (共著 田中伸英他)”、The 1st World Conference on Production and Operations Management, Seville, Spain CD-ROM 収録.

2000年 “Prescription For The 21-Century Population Problem In Japan (共著、小島崇弘)”、The 18th International Conference of the System Dynamics Society, Proceeding CD-ROM 収録、System Dynamics Society.

1999年 「情報技術による変革の現状と課題」、商学研究所年報、No. 24.

1999年 「企業内・企業間コミュニケーションの展開の現状と展望」、TRI-View、Vol. 13、No. 2、東急総合研究所.

1998年 「電子コミュニケーションの組織へのインパクト」、専修大学商学研究所報、No. 124.

1998年 「進展するモバイルコンピューティングと経営」、OMNi-MANAGEMENT、日本経営協会、Vol. 7、No. 2.

1996年 「TOQ-NETー東急グループの情報発信・交流の仕組み(情報マネジメント研究会としての共著)」、TRI-View、Vol. 10、No. 7、東急総合研究所.

1996年 「企業グループと情報化」、TRI-View、Vol. 10、No. 2、東急総合研究所.

1995年 「社会システムのモデリングにおけるシステムダイナミクスの再考」、日本経営数学会誌、No. 47.

1995年 「情報技術と質的成長」、企業診断、Vol. 42、No. 4、同友館.

1995年 「特集：企業の質的成長について（企業の質的成長研究会としての共著）」、企業診断、Vol. 42、No. 4、同友館。

1995年 「パーソナルからインターパーソナルコンピューティングへ（Ⅱ）」、専修大学商学研究所報、No. 103。

1994年 “Number of Surviving Teeth for Japanese Age Groups（共著 島田俊郎他）”、*System Dynamics-Exploring The Boundaries*、System Dynamics Society。

1994年 「パーソナルからインターパーソナルコンピューティングへ（Ⅰ）」、専修大学商学研究所報、No. 96。

1994年 「情報創造のフレームワークへ向けて」、専修大学商学研究所報、No. 96。

1992年 “Creativity in Management Decision（共著 Christian Wagner）”、CEMIT’92 Proceedings。

1992年 「「情報創造」のための創造性研究」、経営情報学会誌、Vol. 2、No. 2。

1991年 “The Feedback Characteristics of Accounting Dynamics（共著 亀山三郎、小島崇弘、町田欣弥）”、*System Dynamics’ 91*, Proceedings of the 1991 International System Dynamics Conference, System Dynamics Society。

1991年 「情報システム機能の進化と自己組織化」、事務管理、Vol. 30、No. 1、日刊工業新聞社。

1990年 “Simulation Model of Japanese Welfare Annuity System（共著 島田俊郎他）”、*System Dynamics’ 90*, Proceedings of the 1990 International System Dynamics Conference、System Dynamics Society。

1989年 “Accounting Measurement and Methodological Characteristics of Accounting Dynamics（共著 亀山三郎・小島崇弘・町田欣弥）”、*Computer-Based Management of Complex Systems*、Spring-Verlag。

1989年 「S I Sと情報ネットワーク」、事務管理、日刊工業新聞社、Vol. 28、No. 7。

1987年 「企業情報システム構築上の課題、データマネジメント」、No. 307。

1987年 「アカウンティング・ダイナミックスの操作性を求めて」、横浜商大論集、Vo. 21、No. 1。

1987年 “Accounting Dynamics - Its Concept and Model（共著 亀山三郎・小島崇弘・町田欣弥）”、Proceedings of the 1987 International Conference of System Dynamics Society。

1987年 “A Simulation for Dental Diseases（共同 島田俊郎他）”、Proceedings of the 1987 International Conference of System Dynamics Society。

1985年 「アカウンティング・ダイナミックス（Ⅰ）——方法的特徴とモデル（共著 亀山三郎・小島崇弘）」、会計、Vol. 128、No. 4、森山書店。

1984年 「意思決定支援システムの概念をめぐる」、横浜商大論集、Vol. 17。

1984年 「データ依存と構造依存—社会システムのモデリング方法をめぐる—考察」、経営数学会誌、No. 6。

1982年 「システム・ダイナミックス手法による企業モデルについて」、横浜商大論集、Vol. 15。

1980年 「意思決定サポートシステムについての一考察」、修士論文、横浜国立大学大学

院.

1980年 「D S Sの枠組みと位置づけ—Scott Mortonの所説を中心に(第Ⅱ部)」、情報科学論集、No. 11、東洋大学附属計算センター.

(学会発表：国際会議のProceedingsにPaper収録の発表は論文の項に記載)

2019年 「プロ棋士の世界における囲碁ソフトの現状」、AI人工物の監理研究部会、2019.9.14、専修大学.

2019年 「ソフト／ハードシステムとソフト／ハードアプローチ：SDの立ち位置」、日本経営数学会第41回研究大会、2019.6.2、拓殖大学

2018年「囲碁ソフトとAI」、日本経営数学会秋季研究会、2018.12.22、専修大学.

2018年「AIと囲碁」、情報経営学会、第77回全国大会、2018.11.23、西南学院大学(予稿集 pp. 29-32)

2017年「流通業の情報ネットワークについての基礎的考察」、情報経営学会、第75回全国大会、2017.11.18、龍谷大学(予稿集 pp. 149-152).

2014年「企業システム史の観点からの経営情報システムの研究(I)」、情報経営学会、第69回全国大会、2014.11.9、ホテル日航八重山.

2013年「40年プラスマイナス—World Model再考」、日本経営数学会秋季研究会、2013.11.9、専修大学富士山中湖セミナーハウス.

2011年「企業情報システムの新しい潮流」、日本経営数学会秋季研究会、2011.10.9、カレッジプラザ(秋田県立大学).

2007年 資料：「高校数学についての基礎的考察—学習指導要領と教科書」、日本経営数学会誌、Vol. 28, No. 2, pp. 93-102.

2006年「企業情報システムの現状認識に関する基礎研究」、経営情報学会2006年秋季全国研究発表大会、神戸商科大学[2006.11.11、予稿集 pp. 18-21]

2004年「高校数学についての基礎的考察—学習指導要領と教科書」、報告要旨集 pp. 66-71、日本経営数学会第26回研究大会

2004年「階層的目的地選択と小売集積：シミュレーション(共同 降籬徹馬, 田中伸英)」、報告要旨集 pp. 16-19、日本経営数学会第26回研究大会

2003年「表計算機能によるシステムの学習(共同 小島崇弘)」、予稿集 pp. 109-112、OA学会第47回全国大会

2003年「小売施設と人口分布の相互作用を考慮した小売集積シミュレーション」、共同(降籬鉄馬、高橋 裕、田中伸英)、報告要旨集 13-17、日本経営数学会第25回研究大会

2002年 “Japan-Population-Model(共同 小島崇弘)”, IFORS: The sixteenth Conference of the Federation of Operational Research Societies, University of Edinburgh, UK.

2002年「21世紀日本の人口モデル」、日本経営数学会、第24回研究大会.

2001年「「次世代携帯利用」の枠組み」、経営情報学会2001年春季全国研究発表大会.

2000年「SD教育の現状—米国事例を中心に」、日本経営数学会秋季研究会.

1999年 “System Dynamics Analysis of Network Externality in Complex Market

Structures, Part II: Basic Strategy for Re-entry and New Product Distribution, (共同 福永吉徳、高橋 裕、田中伸英、森田道也) ”、The 17th International Conference of the System Dynamics Society, Wellington, New Zealand.

1998年 「ソフトORとシステムダイナミックスの方法論的位置づけの考察」、日本経営数学会、第20回研究大会.

1997年 「電子的コミュニケーションの組織へのインパクト」、経営情報学会 1997年秋季全国研究発表大会.

1996年 「電子メール・情報共有化グループウェア導入分析のフレームワーク」、経営情報学会 1996年秋季全国研究発表大会.

1995年 「会社と人との関係——新たな分析枠組みを求めて」、経営情報学会 1995年秋季全国研究発表大会.

1994年 “Accounting Dynamics Model for the Revised SNA (共同 亀山三郎・小島崇弘・町田欣弥) ”、1994 International System Dynamics Conference, Stirling, Scotland.

1994年 「社会システムのモデリングにおけるシステムダイナミックスの再考」、日本経営数学会、第16回研究大会.

1994年 「意味探索・機能最適化・構造同定の三角形モデル：システム方法論のフレームワーク試論 (共同 妹尾堅一郎・木嶋恭一)」、経営情報学会 1994年春季全国研究発表大会.

1993年 「パーソナルコンピューティング確立へ向けて—情報創造の基礎的条件」、経営情報学会 1993年秋季全国研究発表大会.

1993年 “Accounting Dynamics Approach to SNA (共同 亀山三郎・小島崇弘・町田欣弥) ”. 1993 International System Dynamics Conference, Cancun, Mexico.

1992年 “Building Accounting Dynamics Model (共同 亀山三郎・小島崇弘・町田欣弥) ”、1992 International System Dynamics Conference, Utrecht, the Netherlands.

1992年 「情報構造のフレームワークへ向けて」、経営情報学会 1992年春季全国研究発表大会.

1991年 「超長期社会システムシミュレーションの問題点—ワールドモデル再考」、日本オペレーションズ・リサーチ学会平成3年秋季研究発表大会.

1991年 “The Accounting Dynamics to Corporate Behavior (共同 亀山三郎・小島崇弘・町田欣弥) ”、1991 International System Dynamics Conference, Bangkok, Thailand.

1990年 「自己組織性と情報システム機能 (情報教育研究プロジェクト部会報告)」、日本経営教育学会第22回全国大会.

1990年 「情報システム機能の進化と自己組織化」、経営情報学会、第2回研究発表大会

1989年 “Accounting Dynamics (共同 亀山三郎・小島崇弘・町田欣弥) ”、TIMS XXIX.

1989年 「マトリックスの会計への応用と展開—簿記動学化への一考察」、日本経営数学会、第11回研究大会.

1988年 「会計モデルの構造依存的特質とシミュレーションの有効性について」、日本会計研究学会、第47回全国大会.

1986年 「組織学習の概念と適応領域」、日本経営教育学会、第19回関東部会。  
1985年 「構造型シミュレーション・モデルの有効性」、日本経営数学会、第7回大会。  
1985年 「アカウントティング・ダイナミックスの展開—ADによる会計理論の拡張をめざして（共同 亀山三郎・小島崇弘）」、日本会計研究学会、第44回全国大会。  
1983年 「わが国の大学におけるEDP会計教育（共同 特別委員会報告）」、日本会計研究学会、第42回全国大会。  
1983年 「データ依存か構造依存か—社会システムのモデリングをめぐる一考察、日本経営数学会」、第5回研究大会。  
1982年 「会計モデルの操作性—アカウントティングダイナミックスの技術的基礎をめぐる（共同 亀山三郎・小島崇弘）」、日本会計研究学会、第41回全国大会。

**（その他：ノート、解説、資料、書評、翻訳等）**

2014年 書評：「社会人大学院生による研究成果として」、日本経営数学会誌、Vol. 35, No. 1・2, pp. 63-72.  
2012年 書評：「『大学経営学部長の役割』、クリシナ・S・ディア編著、佐藤 修訳、中央経済社、2011.7」、専修商学論集、第94号。  
2011年 「中小企業の情報化に関する覚え書き」、『次世代システムを考える』、2011.3、経営情報学会 次世代システム研究部会。  
2011年 書評：「『ニッポンのITその未来—モノづくり大国を革新する「仕組みづくり」の発想』、浜口友一著、日本経済新聞社 2010.7」、専修商学論集、第92号。  
2007年 「システムダイナミックス教育に関する覚え書き」、情報科学研究所所報、No. 67、2007.3、専修大学情報科学研究所  
2001年 解説：「次世代携帯通信技術」、『e-Businessの理論と実践—その成熟と変容』、経営情報学会 e-Business 研究部会  
2001年 解説：「e-Businessとは何か」、『e-Businessの理論と実践—その成熟と変容』、経営情報学会 e-Business 研究部会  
1994年～1999年 解説：「経営情報管理」、企業診断、Vol. 41、No. 4より Vol. 46、No. 6号まで連載。  
1994年 翻訳：『情報システム組織論（第10章 職能的挑戦と情報システムマネージャー）』、オーム社。  
1995年 資料：「ワールドモデル再考」、専修大学商学研究所報、No. 103。  
1998年 資料：「電子的コミュニケーションの影響調査 単純集計」、専修大学商学研究所報、No. 124。  
1994年 「情報創造のフレームワークへ向けて」、経営情報学会 情報創造研究部会  
1993年 書評：「『ソフト戦略思考』、Jonathan Rosenhead 著、木村恭一監訳、日刊工業新聞社」、戦略コンピュータ、Vol. 32, No. 1、日刊工業新聞社  
1992年 解説：「情報創造のベースとしての創造性のとらえ方」、経営情報学会 情報創造研究部会  
1990年 解説：「最近のシステム・ダイナミックスソフトウェア（共同 黒野宏則・椎塚久雄）」、オペレーションズ・リサーチ、Vol. 35, No. 10。



1988年 書評：『新・情報システム入門』牧野 勝」、事務管理、Vol. 27、No. 10、日刊工業新聞社.

以上